令和３年１１月　№325

学　校　だ　よ　り

中央区立京橋築地小学校
東京都中央区築地２丁目13番１号

十三夜～本栖移動教室～の晩に

校長　平山　尚彦

「秋の日はつるべ落とし」と言うとおり、早い日暮れと宵の冷え込みに、うら寂しさのようなものを感じますが、そのせいか、帰り道の家々に灯る明かりからは、何かほっとする心温まるものが沁みてきます。

去る10月18･19日に２年ぶりの宿泊行事となる本栖移動教室へ６年生と行ってきました。感染対策のため、様々な制約はありましたが、何よりも子どもたちとともに無事行ってくることができたことを、ありがたく嬉しく思っています。

初日の晩にはナイトウォークを行いました。宿泊したヴィラ本栖の裏手にある１周３分ほどの林の中の遊歩道を、夜の暗闇の中、２人ないし３人で一回りするというものです。

余興的な要素もありましたので、子どもたちの受けとめ方は様々だったと思いますが、私の中にはちょっとした願いがありました。大自然の中の暗闇に身を置く経験…最初は真っ暗で何も見えず、恐怖さえ感じますが、次第に目が慣れてくると、心も落ち着き、様々なものが見えてきます。月の光が思いのほか明るいこと、足の感触で道が辿れること、暗さの中でも人の目は意外と見えること…怖さと同時に暗闇を経験したからこそ見えたことに一つでも気付いてくれればと。

さらには、自然の中の自分はちっぽけな存在であること、それでも自分は自然に包括される一員であることなど、自然と自分との関わりや、自然に対する畏怖や畏敬の念を感じるきっかけになってくれれば…内心そのようなことまで思いを馳せておりました。

また、その日は空も晴れ渡り、ちょうど十三夜の晩でした。月の美しさや、そばで輝く木星、東京では見えない多くの星座など、欲を言えばきりがないほど、子どもたちに伝えたいものがたくさんありました。校外学習、宿泊学習だからこそ経験できることの大切さを改めて感じました。

11月に入ります。校外学習の予定がある学年ほか、音楽学習発表会に向けた取り組みが本格化してきます。子どもたちの新たなことに挑戦する気持ち、新たなことに気付く視点を引き出せる小さなきっかけを、日々の学校生活の中にできる限りたくさん、ちりばめていきたいと考えています。

１１月の行事予定

日	曜	主な行事予定
1	月	委員会（５年）柏学園（３年）能楽教室（６年）キラキラ１年生撮影日（１年）　詩の日
2	火	児童・生徒の学力向上を図るための調査（６年）
3	水	文化の日
4	木	
5	金	安全指導　研究発表会
6	土	
7	日	
8	月	４年以上６時間授業
9	火	
10	水	点字教室（４年）
11	木	避難訓練
12	金	児童・生徒の学力向上を図るための調査（５年）
13	土	
14	日	
15	月	クラブ（４～６年）
16	火	校外学習（１・２年）
17	水	就学時健診　全校集会
18	木	個人面談①
19	金	校外学習（６年）
20	土	土曜学校公開日
21	日	
22	月	個人面談②
23	火	勤労感謝の日
24	水	学習DAY
25	木	全校集会予備日
26	金	個人面談③
27	土	
28	日	
29	月	委員会（５年）
30	火	個人面談④　児童・生徒の学力向上を図るための調査（４年）

校内研究について２

研究主任　飯田　恵子

１１月５日（金）、中央区教育委員会研究奨励校として、「主体的に考え、表現する児童の育成　～算数科の指導を通して～」をテーマに、本校の研究発表会を開催いたします。本来、研究発表会は、他校の先生方をたくさん本校にお招きして行うものですが、新型コロナウィルスへの不安がまだまだ大きいことに鑑み、ご来校いただかず、それぞれの学校からオンラインで参加していただくことになりました。オンライン形式での研究発表会は初めての試みのため、何度かリハーサルを行いながら準備を重ねております。先日お便りでもお知らせしたように、配信容量等の関係で、研究発表会を保護者の皆様に参観していただくことはできませんが、こうした発表会を行い、私たち教員が指導力を磨いていくことが、京橋築地小学校の子どもたちのためになると考え、研究を続けています。

算数の学習では、問題を提示したあとの、見通しをもつ時間を大切にしています。「答えはいくつかな。」「何算で求めるかな。」「どうすれば答えが見つけられるかな。」「これまで学習したことで使えそうなことはないかな。」「どんな式になるかな。」「テープ図（数直線）で表してみよう。」などなど、学習内容によってさまざまな働きかけをします。こうした話し合いをすることで、子どもたちは見通しがもて、自ずと自分の考えをノートに書き始めます。そして考えを発表するときには、聞き手の反応を確かめながら、話を少しずつ区切って説明します。このような「主体的に考え、表現する」子どもたちを増やしていこうと、日々の授業に取り組んでいます。

「しおかぜ」入室について

しおかぜ教室主任　津村 晶子

保護者の方やお子さん本人から、「しおかぜに入りたいのですが、どうすればいいですか。」と、ご質問いただくことがあります。しおかぜへ入室をご検討・ご希望される方は、お早めに学級担任や特別支援教育コーディネーター等にご相談ください。

来年度の４月（次の学年）からの入室をするためには、今年度の１月が申し込み締め切りです。申し込みをするまでには、お子さんへの適切な指導・支援のために、説明や相談、書類作成等の様々な手続きがあり、直前では間に合わなくなってしまうこともあります。今年の１１月中にご相談いただけると、比較的スムーズに進められます。

年度途中でも入室できる時期が例年３回ありますが、人数の関係により指導時間の確保が難しく、次年度までお待ちいただくことになる場合もあります。

入室のご希望にかかわらず、質問や相談も随時受け付けていますので、ご興味や相談がありましたら、お気軽・お早めに学校にご連絡ください。

また、学校ホームページには「特別支援教室しおかぜ」のページがあります。区や都ホームページにもお知らせがありますので、合わせてご覧ください。